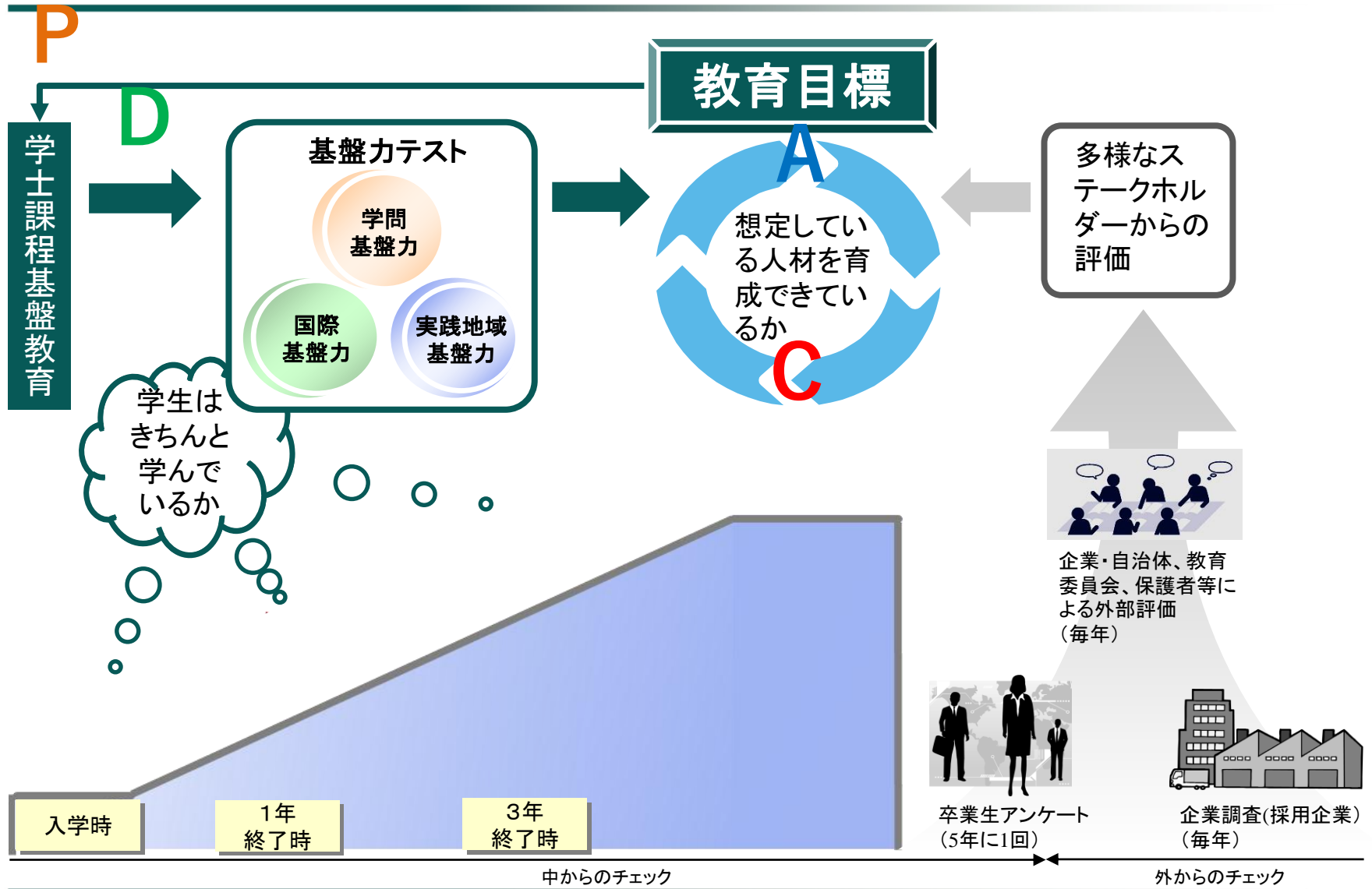


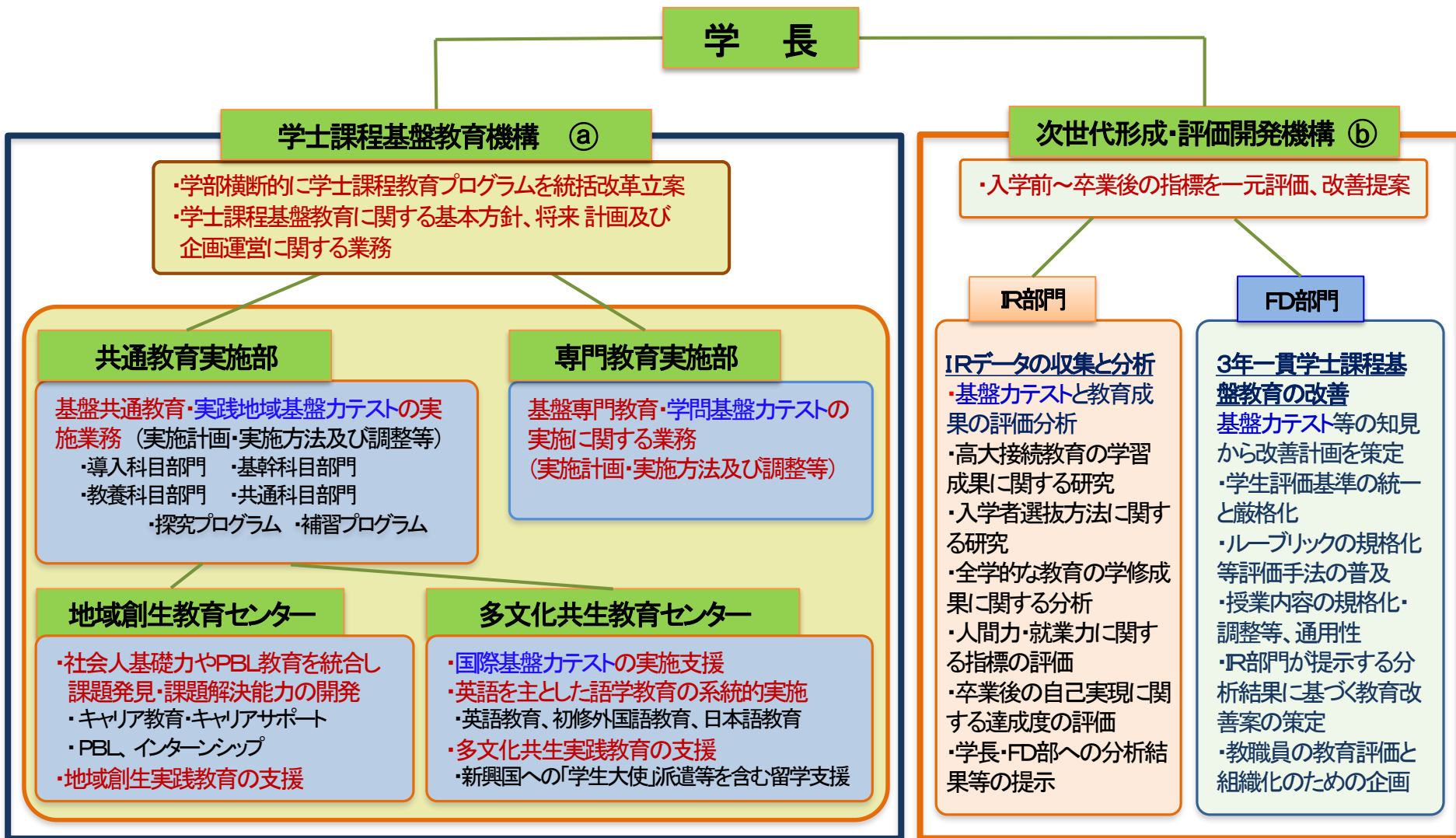
分析結果の活用と 質保証強化

浅野 茂(山形大学 学術研究院)

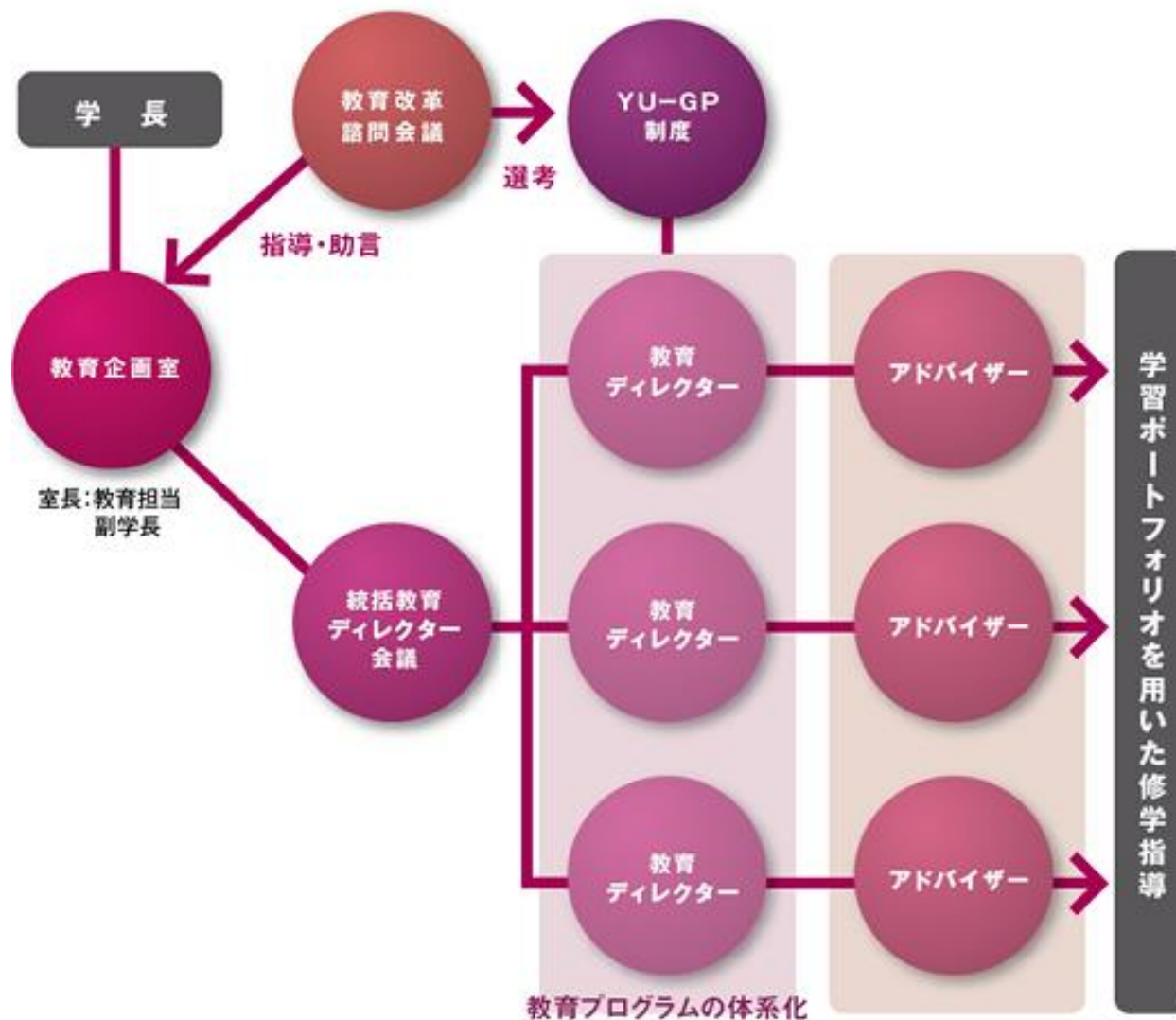
分析結果の活用と質保証強化の全体像



PDCA 教学マネジメント体制



PDA 教育ディレクター制度

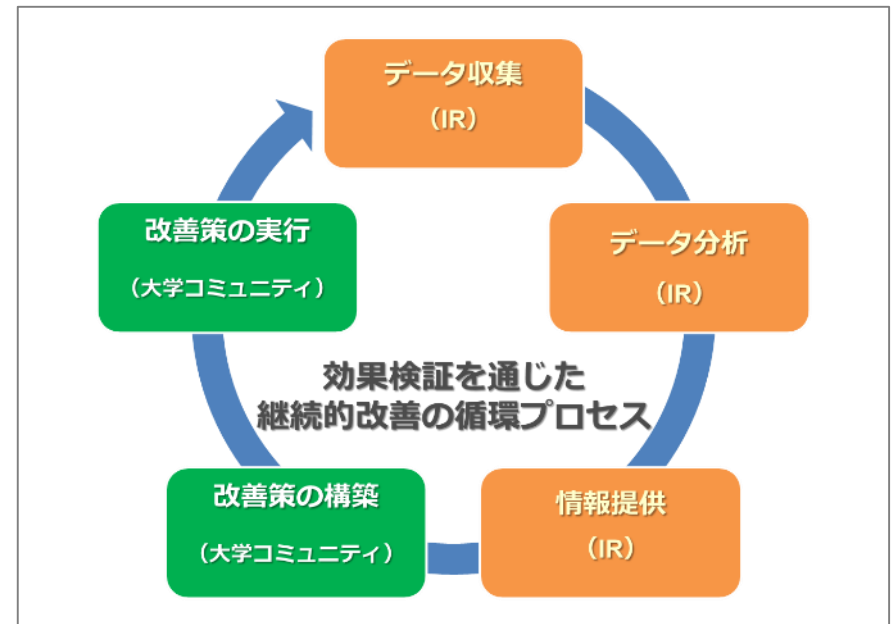


CA 分析、効果検証、継続的改善の支援体制



・IR (Institutional Research)とは客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援すること

・IE (Institutional Effectiveness)とはIR機能を活用して効果検証を行い、大学として継続的改善の循環プロセスを実行すること



URL: <https://ir.yamagata-u.ac.jp/what-is-ir/>

C 教育プログラムと3ポリシーの整理

教育プログラム

教育目標

DP

CP

AP

「学位プログラム」ではなく、教育目標を最小単位とする「教育プログラム」という考え方に準拠

学部	学科	コース	教育プログラム	学位
A学部	A1学科		A1学プログラム	学士(〇〇学)
	A2学科	A2Xコース	〇△学プログラム	学士(〇△学)
		A2Yコース	A2Y学プログラム	学士(〇□学)
B学部	B1学科		B1学プログラム	学士(B1学)
	B2学科		B2学プログラム	学士(B2学)
C学部	C1学科		C1学プログラム	学士(□□学)
			C2学プログラム	
			C3学プログラム	
	

参考文献： 浅野茂（2017）「3つのポリシーの体系化に向けたIRによる支援—山形大学における教育の質保証強化の取組を通じて—」，名古屋高等教育研究，第17，pp8-22.

C ポリシーとカリキュラムの整合性確保

学部名： ○○学部

教育プログラム名○○学

教育課程の編成・実施方針 (CP)					カリキュラム				学位授与方針 (DP)			
CP1	CP2	CP3	CP4	CP5	科目名	担当教員	授業の目的	授業の到達目標	DP1	DP2	...	DPO
○	○				基礎生命科学	山形太郎 山形花子 他○○教員	医学の基礎知識として必要となる、化学、生物学、物理学及び生化学について、「医学教育における準備教育モデル・コア・カリキュラム」に準じて指導する。	(1) ○○に関する基礎的知識を把握する。 (2) △△に関する問題意識を持つ (3) ◇◇的なものの見方・考え方を身に付ける。	(1) △ (2) ◎ (3) ○			(2) ◎ (3) ○

○ CPと対応している
※ 該当しない場合は空欄

◎ DP達成のために、特に重要な事項
○ DP達成のために、重要な事項
△ DP達成のために、望ましい事項

C 教育プログラムごとの情報発信

■ 学士課程（各学部）について

山形大学には人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学部、工学部、農学部の6つの学部があります。全学の学士課程とそれぞれの学部、学科・コース(教育プログラム)の単位で教育目標及び3つのポリシーを策定しております。

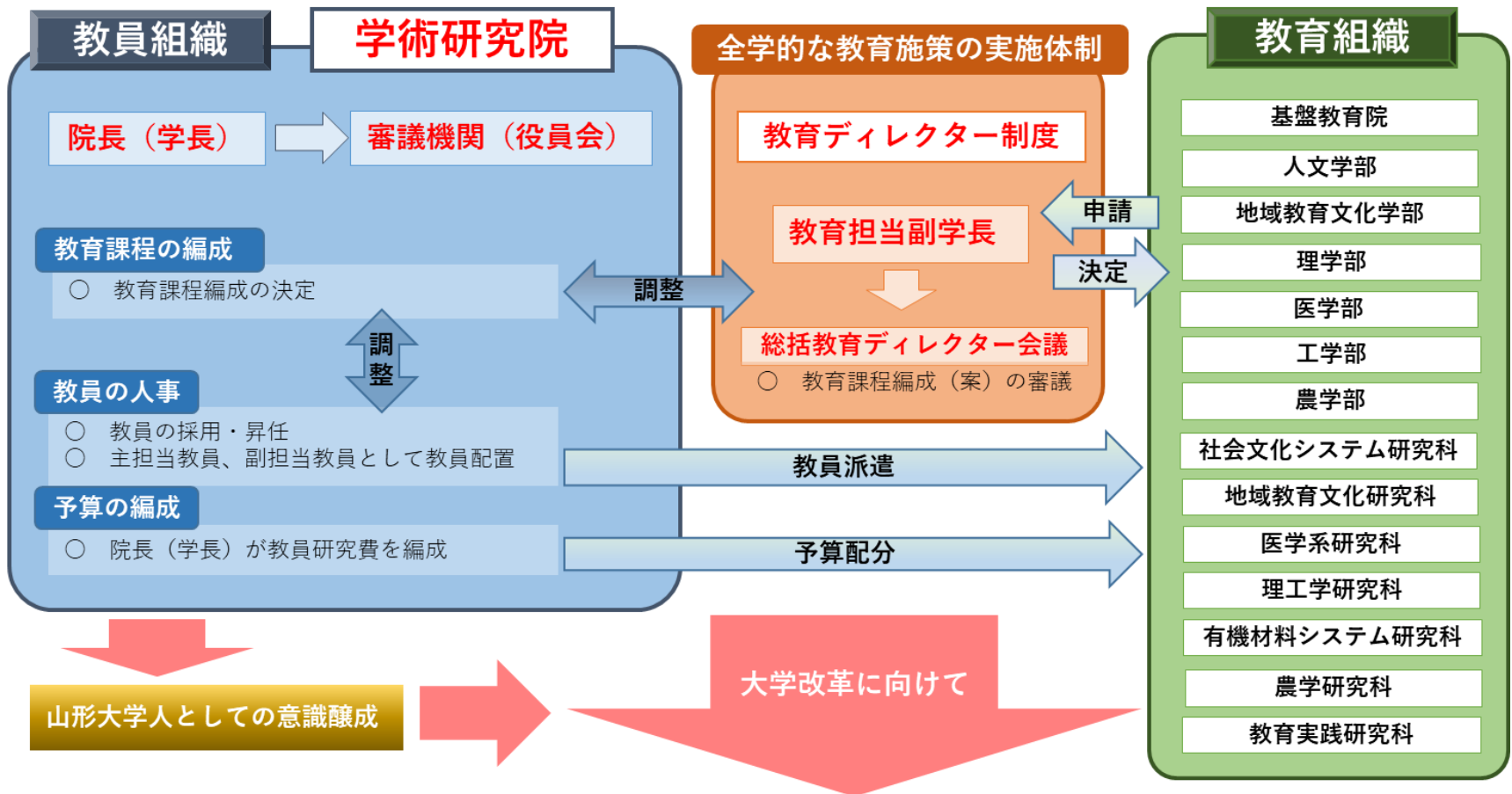
学士課程全学と、各学部の教育プログラムにおける教育目標及び3つのポリシーは、下記項目からご覧ください。

● [学士課程全学の教育目標及び3つのポリシーへ](#)

● [各学部の教育プログラムにおける教育目標及び3つのポリシーは、下記一覧表へ](#)

学部	学科	履修コース	教育プログラム	学位
人文社会科学部	人間社会科学科	人間文化コース	人間文化	学士(文学)
		グローバル・スタディーズコース	グローバル・スタディーズ	学士(学術)
		総合法律コース	総合法律	学士(法学)
		地域公共政策コース	地域公共政策	学士(政策科学)
		経済・マネジメントコース	経済・マネジメント	学士(経済学)

CA 教育プログラムの認定作業の定着



- 人材養成ニーズ及び社会的要請に基づいた教育課程の体系化、組織的な教育の実施が可能に
- 学術的及び社会的要請に基づいた分野横断型の研究拠点の形成、産学官連携の実施が可能に
- 大学の機能強化及び経営力強化の観点から教員配置の最適化が可能に

今後の展望

■ 分析結果の活用

- 1年終了時、3年終了時の基盤力テストの結果を用いたカリキュラムの点検・評価
- APの成果指標：学生の授業外学習時間、卒業生追跡調査の実施率、基盤力テストの実施率のモニタリングと活用
- 学生へのフィードバック、ディプロマ・サプリメント

■ 質保証

- カリキュラム・チェックリスト＋基盤力テストの結果を用いたプログラム・レビュー
- 3つのポリシーの実質化
- 継続的改善の循環プロセス(IE)の定着化